

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11) 特許番号

第2555234号

(46) 発行日 平成8年(1996)11月20日

(24) 登録日 平成8年(1996)8月22日

(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	片内整理番号	P I	技術表示箇所
D 0 5 B 1/20		7339-3B	D 0 5 B 1/20	Z
63/00		7339-3B	63/00	
73/12		7339-3B	73/12	

請求項の数5(全 6 頁)

(21) 出願番号	特願平3-210916	(73) 特許権者	000003399 ジューキ株式会社 東京都調布市国領町8丁目2番地の1
(22) 出願日	平成3年(1991)8月22日	(72) 発明者	藤田 州司 東京都調布市国領町8丁目2番の1 ジューキ株式会社内
(65) 公開番号	特開平5-49762	(72) 発明者	馬場 康史 東京都調布市国領町8丁目2番の1 ジューキ株式会社内
(43) 公開日	平成5年(1993)3月2日	審査官	山崎 豊
		(56) 参考文献	特開 昭58-138476 (J P, A)

(54) 【発明の名称】 オーバーロックミシン

1

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ミシンヘッドに固定される針板本体と、針板を保持し針板本体に形成された針落ち溝を通過して上下動する縫い針と、

前記縫い針の昇降動作に同期して針板本体から出沒しつつ正方向、逆方向へ選択的に四運動を行い針板本体からの突出時において針板本体上に載置された布を正送り方向または逆送り方向へ送る送り歯と、

前記針板本体上に載置された布を押える布押え部材と、布縁に形成する縁かがり幅を規定するように針落ち点から布縁側へ離れて布の正送り方向に突出する爪部が形成されたかがり爪部と、

前記縫い針の昇降動作に同期して針板本体における縫い針

2

前記ルーバに固定され、ルーバ進出時においてルーバの糸挿通孔から導出されるルーバ糸を前記縫い針の昇降経路より布正送り方向前方へ案内する糸案内部材と、を備えることを特徴とするオーバーロックミシン。

【請求項2】 前記針板本体に対し、前記かがり爪部を布送り方向に沿って移動可能に設けると共に、前記かがり爪部の基端部に針板上面と略同一平面を有する布支持部を一体的に形成したことを特徴とする請求項1記載のオーバーロックミシン。

【請求項3】 前記送り歯に保持されて送り歯と共に針板本体下方で四運動を行う爪移動体を設け、この爪移動体を、針板からの送り歯突出時においてかがり爪部に形成された針板本体下面に位置する押接部に圧接させ送